



吉田地区



6号

住民自治協議会だより

キャッチフレーズ：「人の和と 地域の輪もて 我が吉田」

・発行責任者 風間 政美 ・編集 吉田地区住民自治協議会だより編集委員会

住民自治協議会本格的発足

二年目を迎えて

吉田地区住民自治協議会 会長 風間 政美

長野市は、都市内分権を導入し、市の行政組織を大改革し、区長会等十団体に依頼していた事務や事業を、必須事務と選択事務に分類し、市内三十二地区の各住民自治協議会に、この十団体の事務や事業を引き継ぎました。吉田地区では、五部会、九委員会で分担して、平成二十二年四月から本格的に動き出し、部会や委員会の努力によって、何とか一年目を経過する中で、多種多様な貴重な経験や学ぶことも多々あったことと思います。どうか今年度の事業推進の中で、役立てていただきたいと思っています。

吉田地区は、以前の名称や組織をそのままという部署等が少ないことから大変ご苦労されたことと思います。市内三十二地区の中には、旧団体や組織のまま存続し、部会を編成している地区も数多く存在しています。

吉田地区住民自治協議会も一年経過する中で収入財源の主なものは、次の通りであります。

収入財源の主たるもの

(単位：円)

市からの ◇いきいき交付金	11,600,000
◇社会福祉関係補助	2,400,000
◇地区負担金(区)	5,000,000
◇前年度繰越金	1,500,000
計	20,500,000

収入財源で、繰越金を百五十万円程度見込めるとして、二千万円程度収入財源であります。新たに財源が必要な場合は、支出に制限を加えるか、各区の負担金を増額するか課題となります。

当面の課題は、事務局長体制とその財源問題が各住民自治協の大きな課題であります。

今年度の新規事業として、お年寄りや障がい者等の方の移送事業を、九月頃から開始する予定であります。(一回六百元)

平成二十三年度 役員・顧問名簿

役員	会長	風間 政美
副会長	島田 光夫	
副会長	長田 威夫	
副会長	竹原 一夫	
区長部会長	風間 政美	
安全・安心部会長	近藤 広和	
環境美化部会長	小林 袈裟文	
福祉・保健部会長	石巻 千恵美	
教育・公民館部会長	竹原 一夫	
会計	岡谷 文太郎	
監事	峯村 喜也	
監事	和田 厚子	
顧問	三井 経光	
顧問	近藤 満里	
相談役	齊藤 忠二	
相談役	霜田 市郎	



安全・安心部会

防犯・防災委員会

振り込め詐欺撲滅に向けて

吉田地区防犯協会

一時期発生が減少した振り込め詐欺が、今年に入って再び増加に転じ、特に高齢者の生活資金を根こそぎ騙し取る「オレオレ詐欺」が続発しています。

今では、誰でもオレオレ詐欺の手法を知っており、自分は絶対に被害に遭わないと自信を持っています。しかし相手は訓練を重ねたプロの犯罪者集団、息子や孫を装い言葉巧みに不始末を種に、親心に付け込み大金を振り込ませ騙し取っています。

吉田地区防犯協会では、住民の方々がこのような犯罪の被害を受けないよう、定期的に青色防犯パトロール車を活用して街頭広報活動や、駅頭で乗降客に広報チラシを配布するなど、の活動を展開し、振り込め詐欺の被害防止に努めております。



街頭広報活動

交通安全委員会

長野交通安全協会吉田支部

支部長 横田 一尊

私達は交通安全思想の普及と高揚を図り、交通事故のない、安全で安心な社会づくりを目指して活動しています。

季毎の交通安全運動期間中の街頭指導をはじめ、吉田ふるさと夏まつりの雑踏警備、町民運動会の自転車誘導等、地元の無事故を願い頑張っております。



交通安全協会吉田支部総会
集合写真

昨今の運動の重点は先ず高齢者の交通事故防止です。役員一丸となつて高齢者宅の個別訪問を行い、『反射材着用』を特に訴えております。又、訪問先ではアンケートをお願いし、回収数では市内30支部の中で常に上位を占めています。

尊い人命を交通事故で失う事のないよう、お互いに声を掛け合い安全第一！の町づくりを推進して参りたいと願っております。

環境美化部会

実施

各町雨に見舞われながらも、五月下旬から六月上旬にかけて、春のゴミゼロ運動及び河川の一斉清掃を行いました。

ご参加いただきました皆様、ご協力ありがとうございました。



春のゴミゼロ運動

これからの環境美化部会の取組予定を紹介します。

- 6月 アメシロ一斉防除、各町協力員の指導
- 8月 定例会 アメシロ第一期防除報告、第二期対策
- 9月 定例会 アメシロ第二期発生報告、部会視察研修について



アメシロ防除

10月 秋の大掃除、ゴミゼロ運動、市広報による啓発、辰巳公園の清掃、部会視察研修の

「ごみ分別強調月間」各町協力員によるごみステーション立会、指導

- 11月 定例会 ゴミゼロ運動の結果報告、視察研修の反省及び次年度希望について
- 1月 一年間の反省、今後の事業推進について、新年会
- 2月 平成二十四年度の事業について、ごみカレンダー等の配布
- 3月 平成二十三年度の反省及び二十四年度の事業についての計画

年間を通しての活動としましては、各町協力員によるごみの分別の指導、生ごみの自家処理（減量）の推進、リサイクル法による資源回収の奨励、花いっぱい運動を実施し、吉田地区全体が花で飾られる明るい町づくりに取り組んでいます。



花いっぱい運動

福祉・保健部会

福祉委員会

社会を明るくする運動

更生保護施設裾花寮は閑静な住宅街の中にあります。罪を償い再出発しようとする人たちが自立できるように支援しています。

施設長で講演をいただいた浅沼俊輔氏は、「自立を考える」と定職につき、二度と罪を犯すことのないよう強い意志をもつことが必要である」と日々の中で感じているそうです。地域では、あいさつの大切さや理解とあたたかいまなざしが更生への手助けとなることや家族全員で食卓を囲むことも犯罪減少の一步でもあるようです。

地域でのふれあいが減少する現在、近隣へのあいさつが見守り活動や安否確認にもなるように思います。



社会を明るくする運動 7/27 開催
講師 浅沼氏

保健委員会

保健委員会では七月十一日に、環境と健康をテーマに視察研修を行いました。テーマと深く関わりのある住み良い町づくりについて学ぶため、東京理科大学教授「小布施町まちづくり研究所」所長、川向正人先生の研究室を訪ねました。



小布施町への視察研修 7/11

お話の中で「今在るもの（古いもの）そこに暮らす人々の思いを大切にしながら少しずつ景観を修復していく（新しいものを取り入れる）のがいいのではないか」とご指摘いただき、大変感銘を受けました。

教育・公民館部会

人権・同和教育委員会

今年度、人権同和教育委員会では規約の見直しをし、委員21名と教育推進会24名をもって組織しています。今年は学社連携人権同和教育連絡会を青少年委員会と合同で開催させて頂きました。

今後は各町へお伺いする人権同和研修会を通じて皆様と深い絆を結びたいと思います。



育成委員会

猛暑の中、恒例のたつみ祭りが七月二十四日に開催されました。今年度はバルーンアートや折り紙のコーナーも登場。イヌ、花などが次々と完成していました。おたのしみみ抽選会やビンゴ大会では、当選した子供達が歓声を上げ、商品を手渡し、そうに受け取りました。



たつみ祭り
お楽しみ抽選会、ビンゴゲーム
大会などで賑わいました。

青少年委員会

23年度「吉田地区内三校との連絡協議会」は人権同和教育委員会との合同開催。学校の教育方針を理解し、家庭地域に何が必要かを考え実践したいと思います。悪くならない子どもはいません。SOSに気付き輝く未来を守るため大人が心をひとつに良い吉田町にしていきたい。



吉田小、湯谷小、東部中
の先生方、自治協役員と
の情報交換

公民館委員会

行事は活気と心をつなぐ

今年も順調に事業進行中。六月は、「吉田町成人野球・ソフトバレーボール大会」と、「自然観察会（戸隠森林植物園、鏡池散策）」を行いました。

七月は、「吉田ふるさと夏まつり『何丸踊り・吉田びんずる』」を盛大に行いました。



吉田ふるさと夏まつり
実行委員会役員

区長部会

平成二十三年度 区長部会名簿

役職	町名	氏名
部長	吉田町	風間 政美
副部長兼会計	吉田横町	島田 光夫
副部長兼総務	上町	長田 威
	押鐘	丸山 勇
	桐原	仁科 真一
	本町	丸山 義雄
	北本町	田口 忠徳
	広町	中村 志郎
	小町	岡谷文太郎
	吉田東町	山口 勝巳
	中越	神田 公一
	太田	林部 範雄
	鍋屋	丸山 光政
	原町	小林 勇
	西堀	花岡 克行

道路案内パネル設置

住民自治協議会発足から、部会の主な事業としてわかりやすい吉田町にするために、道路の案内標識。パネル板を今回は元交番入口に、辰巳公園・吉田のイチョウ・JＲ北長野駅・吉田交番・何丸生誕地・吉田小学校の三方のパネル板を設置しました。これからも吉田のまちを安心して歩ける「まちづくり」をしてまいります。



お知らせ

吉田地区の元気なまちづくり市民会議が十月十六日(日)午後二時から吉田公民館の多目的ホールで開催されます。ご参加ください。

吉田地区全体の防災体制を考えるため、吉田地区自主防災会連絡協議会の設立総会が八月一日(月)に開催されました。今年度は、十月八日(土)に情報伝達、収集などの防災訓練を実施する予定です。

吉田紀行



第5集

何丸翁顕彰保存会
事務局長 徳永 清

◆吉田地区には、長野市指定の文化財が5点ある。

①吉田のイチョウ・②中越庚申講・③中越庚申塔・④親鸞聖人絵伝・⑤花鳥の図です。

◆吉田のイチョウ(小町)

・昭和10年(1935) 長野県天然記念物に指定。

・昭和42年(1967) 長野市指定文化財「天然記念物」

・このイチョウは、雄木のためにギンナはなりません。公孫樹(こうそんじゅ)とも。イチョウは中国から渡来したものです。



◆樹齢推定約1200年

・樹高約32m

●目通り約9m(目の高さで見た幹の太さ)

◆古来、金毘羅社が祀られた。

・この地から弥生式土器などが出土したので古代人の住居地で旧北国街道(東山道の支道)も付近を通った。「乳頭状」の気根(きこん)があるので、この樹皮を、せんじて飲むと母乳がよく出るとの信仰があつて「乳イチョウ」と呼ばれた名木です。

◆明治維新(1868)後では吉田神社の社地しめ縄がはられ御神木となる。金毘羅から事代主命が祭神となり、7月25日に祭事をする。また秋葉大権現(火之加具土神(ひのかぐつちのかみ)が遷座した。

◆弥生時代(紀元前400年頃)から200年頃まで。

・金毘羅(商売繁盛、交通安全「こんぴら」はサンスクリット語の「クンビーラ」が、なまったもの。古代インドの水難除けの神。ガンジス川のワニが神格化した神である。こんぴら参りの信仰は、早くも平安時代から。

・事代主命(惠比寿。信用の神) 大國主命の子。

・秋葉大権現(火伏せの神)。

編集後記

歴史上例を見ない東日本大震災から一五〇日が経過しました。災害は何時起きるかわかりません。常日ごろ心・身の廻り(非常持出)の準備をしておきたいものです。

編集には各部会のご協力を頂きありがとうございます。今後ともよろしくお願ひします。(編集員一同)